5 本時の授業（第1次中1時） 1の3教室

(1) 本時のねらい

自分や友達の名前には数が隠れていることに気付き、その数についてこれまで1つのまとまりとしてとらえていた見方を広げ、1つの数をそれに対応する数の組み合わせ（いくつといくつ）として数をとらえることができることに気付く。

(2) 本時の「決める」

身近な名前の中から数字を見つけ仲間分けしたものを1つの数をいろいろな2つの数を組み合わせて1つの数をつくったり、1つの数をいろいろな2つの数を組み合わせに分けたりして、意味のあるわけ方で仲間を決める。

(3) 展開

時	学習活動と子どもの姿	決める授業デザイン
10	<p>1. 見通しをもつ</p> <p>○書写で名前を書いたよね。 いしいみずき うえのあおし はっとりみゆき なかがわこうた</p> <p>○仲間なんだけど、どんな仲間？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1の3の人の名前，女と男，大人と子ども ・6文字 ・だったら、まだいるよ <p style="text-align: center;">＜仲間を見つけられるかな？＞</p>	<p>【Before】</p> <p>名前に数が隠れていることに気付く姿</p> <p>(1)扱う教材の吟味</p> <p>身近な名前を使ってそれを数字に置き換え、現実の数学化へ向けて対象を多面的に見させる。</p> <p>(2) 発言の系列の吟味</p> <p>③仲間を見つける④比べる⑥つくるの観点でデジタル化された名前を見直させる。新しい数の見方ができないときは、はさみで切って数の分解に目をむけさせ、意味のあるわけ方、分ける場所を決めさせる。</p> <p>【After】</p> <p>1つの数をそれに対応する数の組み合わせとして数をとらえられることに気付く姿</p>
20	<p>2. 自分の考えをもち，共有する</p> <p>4・・・ 1人 5・・・ 2人 6・・・ 19人 7・・・ 9人 8・・・ 4人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6の仲間が多いね。 	
15	<p>3. 高める</p> <p>○7の仲間に注目してみるよ もうちょっと仲間分けできない？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうということ？ ・できるよ。 <p>たかやまはるき こむらさくらこ みたこうたろう</p> <p>4と3 3と4 2と5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何と何だね。 ・自分の仲間はあるかな？ ・3と3がいっぱいいるよ。 <p>4. まとめとふりかえり</p>	
<p>○いくつといくつで仲間を見つけられたよ。もっといろんな組み合わせを探してみたいな。</p>		